

授業科目名	スポーツ医学Ⅲ			科目コード	MJKS 0031
学科・コース名	総合ビジネス科 健康スポーツトレーナーコース			履修区分	必修
授業形態	講義	開講学年	2年次	学期	前期
担当教員	杉田大知	実務経験	有	単位数	2 単位
授業の目的・目標	資格の習得、スポーツ医学の基礎的な知識・技術を習得し、スポーツにおけるトレーナーの役割や重要性を正しく理解する。 スポーツ医学検定2級を取得する。				
授業の概要	スポーツの障害や外傷、身体の機能や構造の基礎について学び、スポーツ医学におけるトレーナーの重要性について理解する 知識のみならず、外傷時の対処法や検査法、人命救助・リスク管理について理解を深め現場において率先して行動を起こせるよう知識・技術の習熟度を深める				
回	授業計画・内容			授業外学習の内容	授業外学習時間
1～2	ガイダンス・スポーツ医学(応用)の位置づけ			授業内容の復習	120分
3～4	スポーツ外傷・障害の再整理(応用)			授業内容の復習	120分
5～6	スポーツ現場における評価の考え方			授業内容の復習	120分
7～8	応急処置と判断基準(応用)(AED-CPR)			授業内容の復習	120分
9～10	頭部外傷の現場対応(応用)			授業内容の復習	120分
11～12	脳震盪の評価と復帰基準			授業内容の復習	120分
13～14	顔面外傷の実践対応			授業内容の復習	120分
15～16	頸椎・頸髄損傷の評価と対応			授業内容の復習	120分
17～18	腰痛の鑑別と評価			授業内容の復習	120分
19～20	腰椎椎間板ヘルニアの運動可否判断			授業内容の復習	120分
21～22	腰椎分離症の競技復帰判断			授業内容の復習	120分
23～24	その他腰椎障害の対応			授業内容の復習	120分
25～26	肩関節の機能解剖と障害予防			授業内容の復習	120分
27～28	投球障害肩(成人期)症例検討			授業内容の復習	120分
29～30	投球障害肩(成長期)症例検討			授業内容の復習	120分
31～32	肩関節脱臼の現場判断			授業内容の復習	120分
33～34	肩関節障害の再発予防			授業内容の復習	120分
35～36	肘関節の機能解剖と障害			授業内容の復習	120分
37～38	野球肘(成人)の対応			授業内容の復習	120分
39～40	野球肘(成長期)の対応			授業内容の復習	120分
41～42	テニス肘の病態理解			授業内容の復習	120分
43～44	その他上肢障害の対応			授業内容の復習	120分
45～46	股関節障害の基礎理解			授業内容の復習	120分
47～48	股関節周囲炎・インピンジメント			授業内容の復習	120分
49～50	下肢障害の連鎖的理解			授業内容の復習	120分
51～52	ケーススタディ①(上肢)			授業内容の復習	120分
53～54	ケーススタディ②(体幹)			授業内容の復習	120分
55～56	ケーススタディ③(下肢)			授業内容の復習	120分
57～58	前期まとめ①			授業内容の復習	120分
59～60	前期試験			授業内容の復習	120分
評価方法	期末試験によって評価する				
教科書参考書	スポーツ医学検定 公式テキスト2級・3級 改訂版 東洋館出版社 スポーツ医学検定 公式過去問集 2級・3級 東洋館出版社 JATI認定トレーニング指導者オフィシャルテキスト〈理論編〉大修館書店				

授業外学修について 授業外学習の内容のほかに、予習・復習に1時間をあて、授業準備を行うこと